



5月の青空の下、庭には

バラの花が咲いています



## 森山勝氏の回想録

突然愛妻を亡くした男  
の奮闘記

第2章 妻の死と共存  
を考える

「死」と向き合う

2022. 2. 10

### 1 「死別とは」

貴女の死が中々受け入れられず、死とはどんなことなのか早速図書館で本を借り、死に関する本で確認できたことは

① 死によって肉体も魂も消滅した事を理解しなければならぬ事でした。

(魂とは「考える力」「感じる力」「意思の力」の事です)

② 死んだ人とは二度と会えないと言う事です。

③ 大切な人との死別は、厳粛で、この上なく悲しく切ないと言う事でした。

貴女は、何も言わず突然旅立ってしまった今でも信じられず、貴女を思い出すと突然この上なくせつなく寂しく涙が止まらなくなりこれが何故なのかわかりませんでした。

多くの人がよく寂しい時は思いきって泣きなさいと言われますが中々理解できませんでした。

一年近く経ってからようやく「人は別れによって愛がより深まるために愛おしさや寂しさが増す」のだということを知り納得することができました。

これからは極楽浄土のあの世で再び結ばれること信じて、これからも貴女の魂(生き様)と一緒に生きていくことにします。

### 2 「妻の魂と共存して生きる」

主婦業を立派にやりとげてくれて今は感謝しかありません。

質素倹約を主とする人間を豊かにする趣味には理解がありゴルフ、社交ダンス、絵画、書道、三人旅など充分楽しむことができました。

又手書き家計簿を結婚以来続け経済的自立の基礎を残してくれました。

又言動や行動や服装等の品格を重視し、お世辞や陰口や噂話を嫌いストリートな物言いを好み、お世話になった人への礼節は大切にし冷静さと客観的な助言にはよく救われました。

又不器用さと方向音痴などころがあり良く家族を笑わせ和ませてくれました。

又正義感が強く思いやりのある憎めない人で、体は小さくても肝が座っていてピンチに動じず決めたことは絶対やり遂げる意志の強い人でした。

しかし現代のデジタル化を嫌いスマホの便利さをいくら説いても中々受け入れてもらえず年末にやっとスマホを始めましたが一か月も経たないうちに旅立ってしまった。

※こんな妻ですが「妻の魂と共に生きる」ことにします。

### 3 「スマホで妻と共生する」

「LINE 絆グループ」を作り、私の作った料理を

「弔して」妻も一緒に見て楽しめるようにしています。

又朝は、最初に「お経」を聞き、その後「ポップ音楽」を聞きながらレギュラーコーヒーを入れたりパンを焼いたりして楽しく朝食をとっています

又朝食の後30分ほどの散歩を日課にしていますので、散歩の間、妻にダンス音楽をかけてあげて社交ダンス楽しんでもらっています。

又私が描いた油絵の風景画を OneNote にアップして妻にも一緒に楽しんでんでもらっています。

☆何時ものように妻からの厳しい批評が聞きたいものです。

このようにスマホで妻とつながっているのです、私の傍で毎日の出来事を見守っていると信じています。



**歌声喫茶 5月・6月の予定**

「洛西」(第1、3木曜日)

5月 4日、18日

6月 1日、15日

**楽々亭第31回 5月の予定**

5月16日(火)

西京区役所洛西支所第1会議室

午後1時30分～3時30分



**ともしび通信**

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。